

生産性向上支援訓練実施事例

九州ガス株式会社 様

《利用事業主情報》

【所在地】長崎県諫早市

【事業内容】液化天然ガス、液化石油ガスの供給および販売、
ガス機器の販売、修理、保守管理、リフォーム等

【従業員数】111名

《利用訓練情報》

【コース名】（組織マネジメント分野）

①組織力強化のための管理

②職場のリーダーに求められる統率力の向上

③管理者のための問題解決力向上

（生涯キャリア分野）

④中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成

⑤チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割

⑥後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割

【訓練時期】令和6年度

【受講者数】合計61名（①12名②12名③12名④9名⑤9名⑥7名）



利用事業主の声

当社は、1959年に設立し、長崎県の諫早市、大村市、雲仙市小浜町及び熊本県の八代市において都市ガス及びLPガスを供給している総合ガス事業者です。

これまで当社における社員の人材育成については、一般社員向けの研修を実施していましたが、管理職向けの研修が実施できていない状況で、何か良い解決方法がないか検討していました。

ある時、ポリテクセンター長崎生産性向上支援センターの広報で、当社の課題であった管理職向けの研修を目にすることがあり、問い合わせをしました。

センターから制度の内容や手続き、課題に応じたコースの説明があり、課題解決のためのカリキュラムがあることや会社負担が少なく人材育成ができることなどから社内コンセンサスを得て、令和6年度に管理職向けの研修を生産性向上支援訓練で実施することが決まりました。研修を行う分野は、センター担当者のアドバイスも踏まえて、組織マネジメントと生涯キャリア形成の分野とし、管理職も部長級と課長級に分けて階層別を実施することとしました。

部長級を対象としたコースでは、実施機関への要望として、「①組織における管理者の役割や組織力の強化のための具体的な手法を理解し組織目標の達成に向けた強い組織の構築手法の習得」、「②現場の生産性を向上するために必要となる各種経営組織や形態に対応できる管理機能や職位に応じた組織を統率するための能力を理解し職場のチームワークをけん引できる能力の習得」、「③組織課題に対し業務の問題の本



企業外観

質を的確に捉え業務の問題解決を図るための手法を学び管理者として必要となる問題解決を実行するための知識と技能を習得」について、当社向けにカリキュラムをアレンジ依頼しました。

また、課長級を対象としたコースでは、「④中堅・ベテラン従業員が職務の棚卸を通じて今後の求められる役割を再確認した上で役割の変化に対して円滑に対応できるよう知識と技能を習得」、「⑤中堅・ベテラン従業員が求められる今後の役割や能力を確認し職場の課題に対してこれまでの経験に基づき後輩従業員と共同で解決策を得るための知識と技能を習得」、「⑥中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を活かした後輩従業員指導するためのコーチング法の知識と技能を習得し職場の課題解決に向けた先導的役割の理解」についてカリキュラムをアレンジ依頼しました。

訓練では、日ごろは部署をまたいで業務をすることがないので、それぞれの部署の課題が把握できたこと、また他部署に伝える難しさについて気づきがあり、どう伝えればいいのか良くわかりました。

訓練受講後の社内の変化として、管理職と若手職員が前よりも多く会話するようになったと変化が感じられます。管理職がしっかりと社員の話聞き、対応している様子を見ることがあります。

今後も生産性訓練を活用したいと考えています。次年度は対象者を変えて実施検討をしています。

併せて課長級社員は同業他社が参加するガス協会のセミナーにも参加して、業界特有の課題やZ世代の対応などについて知識や対応方法を習得させたいと考えています。



総務部 総務課 課長
清水 勝弘 さま